

## 論文審査の結果の要旨

氏名：北 條 暁 久

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：肝細胞癌の肝切除術における短期および長期アウトカムに対する高度技能専門医制度の影響

審査委員：（主 査） 教授 多 田 敬一郎

（副 査） 教授 山 下 裕 玄 教授 櫻 井 裕 幸

教授 石 井 敬 基

近年多くの学術団体が医療技術の向上と均てん化を目的に専門医認定制度を制度化している。しかしこうした制度化が実効性のあるものでなければ意味がない。制度制定の意義を検証することは社会に対する責務として極めて重要である。本論文は特に日本肝胆膵外科学会により 2008 年に制定された高度技能専門医認定制度の意義を検証したものである。1990 年から 2019 年の当院での症例において、一区域肝切除術と超一区域肝切除術による高難度肝切除術を受けた患者 493 例の治療成績を専門医制度の施行される前 215 例と後 278 例で比較した。結果は術後総合併症数、90 日以内の死亡率数が有意に低下し、さらに 5 年生存率が有意に改善した。さらに専門医制度施行後の症例において、高度技能専門医が関与する手術と関与しない手術での治療成績の違いについてスコアマッチング法を用いて比較した。結果は短期予後と長期予後に大きな差が認めなかったものの、一区域肝切除術において、高度技能専門医が参加した手術（48 例）の方が参加しなかった手術（48 例）よりも術中出血量が有意に少なかった。以上の結果に基づき、本論文は日本肝胆膵外科学会の高度技能専門医制度は意義ある社会貢献を果たしていると結論づけている。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるのに値するものと認める。

以 上

令和 5 年 1 月 2 5 日